

当院で骨盤臓器脱の手術を受けられた患者様へ

三井記念病院産婦人科では、電子カルテ等の既存情報を用いた後ろ向き観察研究を実施します。本研究のために追加検査は行いません。研究への協力を希望されない場合は、下記の方法で研究対象からの除外を申し出ることができます。申し出により診療上の不利益はありません。

【研究課題名】

骨盤臓器脱に対する3術式（ロボット支援手術、腹腔鏡手術、経膈メッシュ手術）における術前後のQOL変化の後ろ向き検討

【研究の目的】

本研究は、骨盤臓器脱に対して行われる手術（ロボット支援下仙骨膈固定術、腹腔鏡下仙骨膈固定術、経膈メッシュ手術）における治療成績や、術前後の生活の質（QOL）の変化を比較・検討し、今後の診療の質向上に役立てることを目的としています。

【研究対象となる方】

2022年12月から2027年3月までの期間に、当院において骨盤臓器脱に対する上記手術を受けられた方。

【使用する情報】

本研究では以下の診療情報を使用します。

- ・年齢、BMIなどの基本情報
- ・手術内容、手術時間、出血量、入院期間
- ・術前後のQOL質問票、術前後の診察所見など
- ・合併症や再手術の有無

【個人情報の取り扱い】

使用する情報はすべて匿名化し、個人が特定されない形で解析を行います。研究成果は学会や論文で公表される場合がありますが、個人が特定されることはありません。

【研究への参加を希望されない場合】

本研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。その場合、該当する診療情報は研究に使用いたしません。

【問い合わせ先】

研究責任者： 齊藤亜子（産婦人科）